

むかしの<sup>どうぐ</sup>道具と年中行事

名前

学習日

ポイント

- ① 昔の<sup>むかし</sup>道具には、どんなくふうがあり、それを使うには、どんなくろうがあったか。
- ② 昔の人が使っていた道具は、今、どんな道具<sup>か</sup>に変わったか。
- ③ 昔から受け<sup>う</sup>つがれてきた年中行事にはどのようなものがあるか。

きほん問題

1 次の(1)～(5)は、昔の人が使っていた道具についてのべています。どのような道具でしょうか。

下のア～オのなかから1つずつ<sup>えら</sup>選び、<sup>きごう</sup>記号で答えなさい。

- (1) 木などでわくを作り、紙をはって、中に油<sup>あぶら</sup>の皿<sup>さら</sup>を<sup>お</sup>置いて、火をつけるようにしたもの。へやなどを明るくするのに使われた。☐
- (2) わらで足の形にあんだ、はき物<sup>もの</sup>で、今のくつの役目をした。☐
- (3) 下で火をたいて、上に置いたかまやなべを<sup>ねっ</sup>熱して<sup>りょうり</sup>料理をした。たいてい、土や石でできている。☐
- (4) まるい形で、たいらにした石を二つ<sup>かさ</sup>重ね、そのあいだにそばや大豆<sup>だいず</sup>、小麦などを入れて、上の石を回すことによって、<sup>こな</sup>粉にするもの。今でも、おいしさや栄養をそこなわないと、使っている人もいる。☐
- (5) へやのゆかを一部分、四角く切りとって、火をたくようにしたもの。そこで、にもの<sup>ゆ</sup>をした<sup>ぜんたい</sup>り、お湯をわかしたり、へや全体<sup>あたた</sup>を暖めたりする。☐

- ア いろり      イ かまど      ウ 石うす  
エ あんどん      オ わらじ

2 次の(1)～(3)は、年中行事についてのべています。それぞれ何という年中行事でしょうか。下のア～ウのなかから1つずつ<sup>えら</sup>選び、<sup>きごう</sup>記号で答えなさい。

- (1) 11月15日に寺社へお参<sup>まい</sup>りに行き、こどもの成長<sup>せいちょう</sup>を祝<sup>いわ</sup>う。こどもが、男子は3才と5才、女子は3才と7才になった時に、寺社へ行く。☐
- (2) 1月の初<sup>はじ</sup>めに新年を祝<sup>いわ</sup>う。おせち料理を食べたり、初<sup>はつ</sup>もうでに行ったりする。☐
- (3) 1年の最後の日(12月31日)のこと。前日までに大そうじやかざりつけをし、年こ<sup>じゅん</sup>しの準<sup>び</sup>備をする。当日の夜には、そばを食べることもある。☐

- ア 正月      イ 七五三      ウ 大みそか

むかしの道具と年中行事

名前

学習日

チャレンジ問題



次の文は、あるクラスのこどもたちが、おじいさんのところに行って、昔、どのような暮らしをしていたのか、聞いた話です。①～⑨には、どんなことばが入るでしょうか。下のア～ケのなかから1つずつ選んで、記号で答えなさい。

いろりのあるくらはしはよかったなあ。火がよく燃えているときは家じゅうポカポカにあたまって、冬でも寒さ知らずだったよ。いろりは、それだけじゃない。てんじょうからいろりに下がっているじざいかぎに、なべややかんをつるして（ ① ）をしたり、魚やおもちを焼いたりした。食事のときは、家族がいろりを囲んで集まったので、とっても楽しかったよ。

しかしなあ、たきぎがよく燃えなかったりしたときは、けむくてけむくて、なみだがでてきたものだ。家の中がけむりでいっぱいになったりすることもあったけど、このけむりが、家の中にいる虫を退治してくれることにもなったから、いやなことばかりじゃなかったんだ。

ご飯は台所で母さんがたいていたけど、いつもたいへんだったと思うなあ。台所といっても、土間に（ ② ）があって、そこに（ ③ ）のをせて、下から火を燃やすんだが、火をつけるまでがたいへんだった。今のように（ ④ ）で自動的にたいてくれないから、いつも（ ⑤ ）を見ながらたいていたよ。火をつけるときや火が弱くなったときなどは、よく燃えるようにと、火ふき竹を使って風を送っていた。

（ ⑥ ）作りは父さんの役目だった。庭で（ ⑦ ）をするんだ。こどものわしもちょっと手伝ったことがあるが、とても父さんのようにうまく割れなかった。だけど、割ったまきが雨にぬれてしめったりしないようにと床下に運ぶのは、いつもわしの役目だったよ。

そうそう、今でも、家族みんなで行うことも多いけど、わしがこどものころも、家族みんなで初もうでや、3月20日ごろと9月20日ごろの（ ⑧ ）におはか参りに行ったんだよ。大みそかの夜に、父さんにねだって、近所のお寺に除夜のかねを聞きに連れていってもらったこともあったなあ。ほんとうになつかしいなあ。2月3日の（ ⑨ ）のときは、母さんと豆まきをして、その後、年の数だけ豆を食べるのが楽しみだったんだよ。今じゃ、年の数だけ豆を食べるのは大変だけだなあ。

ア かまど      イ 電気がま      ウ ひがん      エ たきぎ      オ 料理

カ おかま      キ 火かげん      ク まき割り      ケ 節分

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>	④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>
⑥	<input type="text"/>	⑦	<input type="text"/>	⑧	<input type="text"/>	⑨	<input type="text"/>		



むかしの<sup>どうぐ</sup>道具と年中行事

【きほん問題】

かい 答	アドバイス
<div>1</div> <div>(1) エ</div> <div>(2) オ</div> <div>(3) イ</div> <div>(4) ウ</div> <div>(5) ア</div> <div>2</div> <div>(1) イ</div> <div>(2) ア</div> <div>(3) ウ</div>	<div>1</div> <div>あんどんは、今の電気スタンドやけいこうとうのような、<sup>しょう</sup>照明器具です。わらであんだわらじは、今のぞうりやスリッパに近いものです。石うすは、今でもおそばやさんで、そばの<sup>み</sup>実を<sup>こな</sup>粉にするのに使っているところがあります。</div> <div>2</div> <div>年中行事とは、昔から受けつがれてきた、1年のうちで決まっ<sup>き</sup>た時期<sup>じき</sup>に行う行事のことです。年中行事には、正月、七五三、大みそかのほかに、<sup>せつぶん</sup>節分、<sup>まつ</sup>ひな祭り、<sup>ぼん</sup>お盆などがあります。</div> <div>年中行事のほかに、地いきによっては、その地いきだけで行<sup>つた</sup>われている祭りや、昔から伝えられている歌やおどりなどのきょう土芸<sup>げい</sup>のうもあります。歌やおどりの一つ一つに意味<sup>いみ</sup>があり、受けついできた人たちの思いや願<sup>ねが</sup>いがこめられています。</div>

むかしの<sup>どうぐ</sup>道具と年中行事

【チャレンジ問題】

かい 答	ア ド バ イ ス
<div></div> <div>① オ ② ア ③ カ ④ イ ⑤ キ ⑥ エ ⑦ ク ⑧ ウ ⑨ ケ</div>	<div></div> <div>いろりには、<sup>だんぼう</sup>暖房したり、にたり焼いたりするほかに、べつの<sup>やく</sup>役わりもありました。日本の<sup>きこう</sup>気候は、<sup>しつど</sup>湿度が高いですが、木でできた家の中で、いろりに火をおこすと、<sup>ねつ</sup>熱とけむりで<sup>しっけ</sup>湿気が取りのぞかれ、わらぶき屋根や柱を<sup>かんそう</sup>乾燥させ、家が長持ちになります。またけむりは、虫が発生する時期の虫よけの効果もありました。ひばちやこたつは、手や足をあたためるものですが、いろりで火をたくと、へやだけでなく、家全体を<sup>せんたい</sup>あたためるくらい熱が出ました。</div>